



清水市政3期 12年の実績（市全体編）



清水市政 3 期 12年の実績 データ検証

(市全体編)

- ① 12年間で**1,216回**の現場訪問等実施 徹底した現場主義
- ② 高品質経営市役所の実現 「見える改革」「生む改革」「人の改革」
- ③ 市民一人ひとりがしあわせを実感できる、財政から見た福祉・市民生活を重視した予算配分 **政令市 1 位 2.7倍扶助費の増加率**
- ④ トップクラスの政令指定都市に
(**成長力、健全財政、市民満足度**)
- ⑤ 外部からの高い評価
マニフェスト大賞首長グランプリ、幸福度ランキング 1 位、SDGs 先進度調査 1 位、学力調査 1 位、住みたい街ランキング 4 位 など

①12年間で**1,216回**の現場訪問等 徹底した現場主義 市民の声を大切に

(1) 全市立小中高等学校・特別支援学校を訪問
334回

(2) 現場訪問 **620カ所**
高齢者施設、障害者施設、
子育て支援施設、保育園、
幼稚園、公共施設、企業視察、
その他

(3) タウンミーティング
161回
延べ**3,223名**の市民参加

(4) 車座集会 **101回**



334校への学校訪問



620ヶ所の福祉施設、保育園、企業等への現場訪問



161回のタウンミーティング



②高品質経営市役所の実現 「見える改革」「生む改革」「人の改革」

「見える改革」（情報公開、市民参加、市民協働）

- ・情報公開ランキング **1位**（H21 最下位→H24 1位）
- ・PPP（公民連携）ランキング 全国 **1位**（H27）

「生む改革」（財源創出、サービスの質の向上）

- ・財源創出 12年 **約1,816億円**（H21-R2）
- ・PFI等の積極的なPPP手法の導入による歳出改革
- ・市税等の収納率の向上 98.0%（H20）→ **99.1%**（R2）
- ・区役所満足度**97.4%**（R2）

「人の改革」（職員の意識改革、組織文化の創造）

- ・一職員一改善提案 398件(H20) → **16,235件**(R2)
- ・「働きがい」を感じている職員の割合64%(H22) → **73%**(R2)
- ・女性管理職登用率 13.6%(H22) → **21.2%**(R2) **政令市 1位**

情報公開ランキング ワースト1からベスト1へ
政令市中最下位 19位(H21年度) → 1位 (H24年度)
(H24年度全国オンブズマン連絡協議会)

<市政情報の整備・発信>

- ◆ **予算編成過程の公表指定都市中ランキング 5位 (H24年度)**
- ◆ **都市経営戦略会議の結果概要公開 (H21年6月～)**
- ◆ **身近な道路(スマイルロード、暮らし道路)整備の要望状況、進捗状況等公開 (H21年度～)**
- ◆ **行政サービスコストの掲示 (H22年4月から印刷物、イベント、工事などに表記)**
- ◆ **出前講座4,995回開催、参加人数延べ296,167人 (H23年11月～R2年)**
- ◆ **さいたま市PRマスタープラン策定 (H23年3月)**
- ◆ **市公式SNS開設** Twitter (H23年3月～)、Facebook (H24年6月～)、
YouTube (H24年10月～)、LINE (H29年1月～)、Instagram (H30年3月～)
ご近所SNS「マチマチ」(H30年5月～)
- ◆ **オープンデータ化の推進 (H26年度～)**

＜市民と行政の絆による市政運営＞

- ◆無作為抽出の市民による「行財政改革公開審議（市民参加型）」（H22年度～）
- ◆自主防犯組織数 **20.6%増** 681団体（H20年12月）→821団体（R1年12月）
- ◆市民の声データベースの構築（H25年度）**施策反映件数12,205件**（H25～R2年度）
- ◆しあわせ倍増プラン・行財改革推進プラン市民評価委員会（外部評価）（H26年度～）
- ◆学校安全ネットワーク（H22年度開始、H23年度から全校で実施）
- ◆市民の声モニター制度の創設（H25年度～）
- ◆施策PR動画の配信（H28年度～）

P P P (公民連携) ランキング 全国 1 位

公民連携ランキング (日経BP社)

9 6 . 5 1 点で最高級格付け「AAA」を取得(全国 1 位)

公民連携コミュニティ

- ・企業や各種団体等と公民連携に関する知識習得や先進事例等の情報共有を円滑に行う場とするため、市内の企業・団体などを対象に設置

さいたま公民連携コミュニティ

公民連携のためのオープンな「場」

NPO法人

民間企業

市民活動団体

金融機関

外郭団体

各種団体

知識・事例

情報共有

市

公民連携テーブル

- ・相談・意見交換の窓口
- ・発案受付の窓口

公民連携をさらに強化



公民連携セミナー

< P P P の推進・市民と行政の絆による市政運営 >

- ・企業・大学との連携・協定による公共サービスの充実：企業193件(R1)、大学98事業 (R1)
- ・企業のCSR活動への認証制度の創設 (H24年度) 認証企業数106社 (H24～R2年度)
- ・しあわせ倍増プラン・行財改革推進プラン市民評価委員会 (外部評価) (H26年度～)
- ・市民の声モニター制度の創設 (H25年度)

1,816億円の財源創出（12年間）①

1期目	2期目	3期目	合計
約680億円	約639億円	約497億円	約1,816億円

(※R2まで)

529億円歳入増、1,287億円歳出減

- ◆市税等の収納率の向上：現年度収納率 99.1%（R2年度）
- ◆国民健康保険の収納率の向上：現年度収納率 92.93%（R2年度）
- ◆公金の納付機会の拡大：コンビニエンスストア（H22年度）、クレジットカード（H25年度）、
ペイジー口座振替（H27年度）、FamiPay請求書支払い（R2年度）
- ◆手数料の見直し（H26年10月）
- ◆総務事務センター、ネーミングライツ、広告、補助金の見直し他
- ◆市立高校教職員の給与水準の適正化（H23年度）
- ◆共通消耗品の集中調達・管理（H23年度～）
- ◆公共施設マネジメントの推進、第1次アクションプランの策定（H26年3月）
- ◆公用車リース 84.7%（R3年1月現在、本庁・区役所所有分）

1,816億円の財源創出（12年間）②

- ◆市立病院ESCO・防災エネルギーセンターの稼働（H28年度）
- ◆官民協働による公共施設の清掃美化活動などの維持管理
アダプト制度の導入活用
 - ◆公園（公園におけるアダプト制度）：288公園（R2年度）
 - ◆道路（さいたまロードサポート制度）：157団体（R3年4月）
- ◆自動販売機設置業者の公募の実施：241台（R2年4月1日現在）
- ◆ネーミングライツの活用
 - ◆浦和駒場スタジアムレッズハートフルフィールド駒場＝浦和レッドダイヤモンズ株式会社
 - ◆NACK5スタジアム大宮（大宮公園サッカー場）＝株式会社エフエムナックファイブ
 - ◆サイデン化学アリーナ（記念総合体育館）＝サイデン化学株式会社
 - ◆レジデンシャルスタジアム大宮（大和田公園野球場）＝株式会社レジデンシャル不動産
※令和3年7月から
 - ◆歩道橋＝42橋（R2年度）
- ◆広告掲載による財源の確保（H22年度～）

区役所の市民満足度 **97.4%** ①

身近な区役所改革を推進

- ◆「くらし応援室」を10区に設置（H21年7月～） 処理件数 約14,200件（R2年度）
- ◆区の窓口満足度 **97.4%**（R2年度）
- ◆各区役所フロアアドバイザー委託化（H22）
- ◆コールセンター満足度 **94.5%**（5点満点中5点） ※R2年度第2回調査
- ◆コンビニエンスストアでの各種証明書の発行開始（H24年11月～）
- ◆スマイルロード・くらしの道路
 - 要望から工事着手までの時間を短縮 4～5年 ⇒ 2.5年（R2）
- ◆民間人の登用7名（R2年度）
- ◆各区役所のフロアアドバイザーの委託化（H22年度～）
- ◆東京事務所の再構築「シティセールの推進拠点化」（H23年度～）
- ◆明るい区役所づくり（R30年度～）

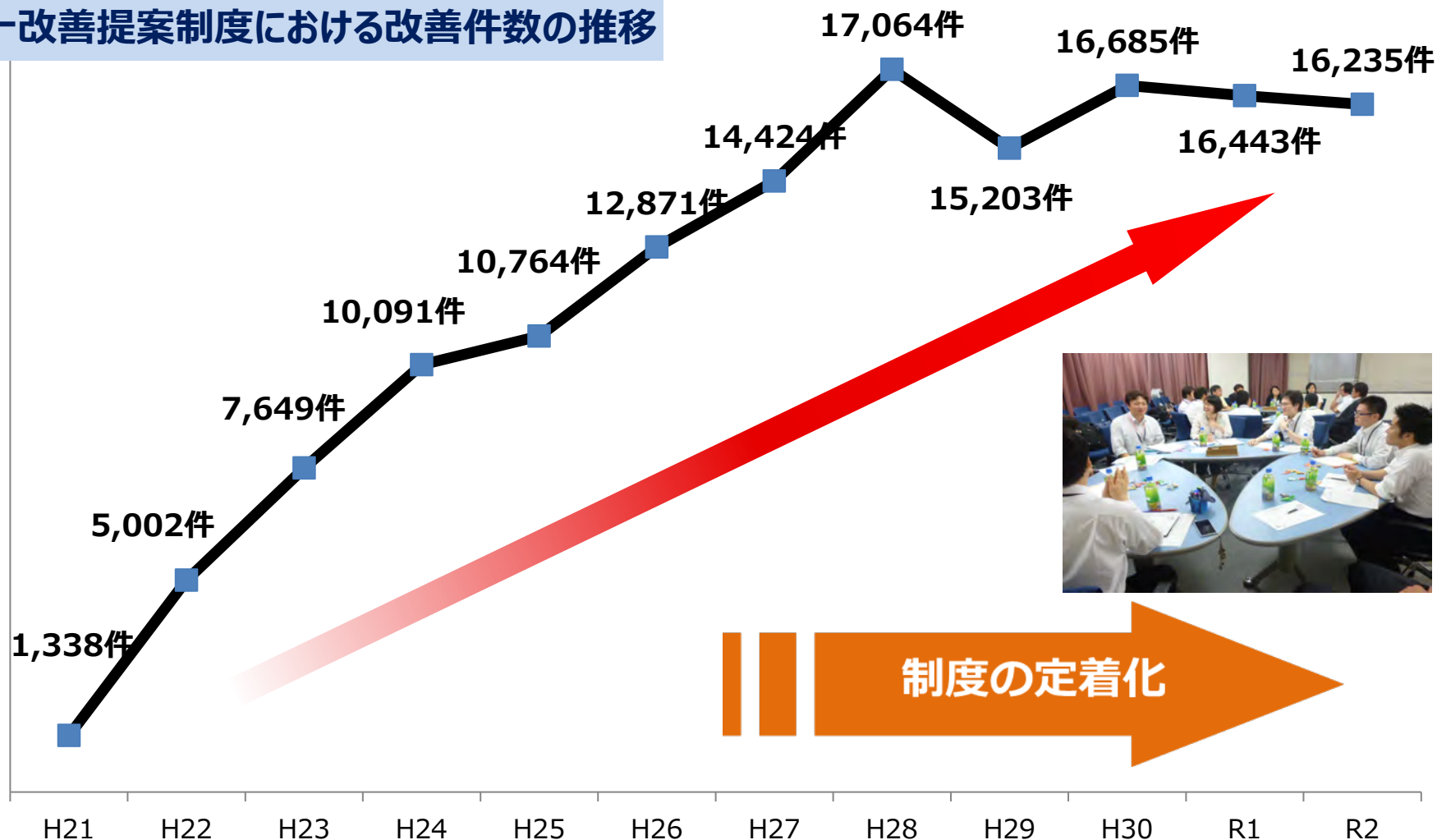
区役所の市民満足度 97.4% ②

- ◆ 郵送センターの設置・運営開始（H24年度～）
- ◆ 総務事務センターの開設（H24年度～）
- ◆ 指定管理者制度の推進：248施設（R2年4月1日現在）
- ◆ 区役所窓口業務の委託化（H24年度～）
- ◆ 保育園用務業務の委託化（R1年度：計32園）
- ◆ 市報さいたま編集業務の委託化（H27年4月～）
- ◆ 出納室業務の委託化（H28年4月～）
- ◆ 図書館窓口業務 全25館中23館を委託化（R2年度）
※残りの2館のうち、1館は指定管理制度・1館はPFI事業
- ◆ PFI事業の推進
 - ◆ 桜環境センター運用開始（H27年4月～）
 - ◆ 大宮区役所新庁舎整備事業・中等教育学校整備事業

人の改革 職員の意識改革 全国有数のカイゼン運動展開

16,000件超の職員改善提案

一改善提案制度における改善件数の推移



制度の定着化

人の改革 職員の職員満足度・働きがい

職員満足度（働きがい） 11ポイントアップ
女性管理職登用率 政令市1位 21.2%

◆職員満足度（働きがい）の向上

11ポイントアップ 62.4%(H22年度) → 73% (R2年度)

◆女性管理職登用率 **21.2% 政令市第1位** (R2年度)

局長級の女性職員は3人（1局長、2区長 R3年度）

◆職員表彰制度の充実（H26年度）

◆やる気のある職員の積極登用

庁内公募制度の導入（H21年度～）

◆昇任試験制度の導入（H27年度～）

- ・組織・職員グループ表彰「市長のいいね！」創設（H27年度）
- ・45の窓口業務の区役所への権限移譲拡大（H23年度）
- ・外郭団体の長への市長・副市長の兼職を廃止
（H21年度、社会福祉協議会を除く）
- ・外郭団体への「自動的な天下り」（市の推薦に基づき市OBが
外郭団体の役職員に就任すること）の禁止（H21年度～）



より身近な、市民満足度の高い区役所改革

【主な成果】

- ◆たらい回しにしない「暮らし応援室」全区に新設（H21年～）
処理件数 約14,200件（R2年度）
- ◆区長の権限の強化 区対象の予算増額、人事権等の権限付与
- ◆区の花を制定（H22年度）
- ◆原付オリジナルナンバープレート（H23年度～）
- ◆区の窓口満足度 97.4%（R2年度）
- ◆住民票に使用する改ざん防止用紙を区の花をデザインした用紙に変更（H23年度～）
- ◆区長マニフェスト（H22年度～）、明るい区役所運動の推進
- ◆本庁と区の人事交流の活発化 349人（R2） *行政職のみ

歳出額から見た清水市政 1 2 年

③財政から見た福祉・市民生活を重視した予算配分 2.7倍扶助費の増加率 政令市 1 位 (R2)

★歳出（目的別）

民生費 2.1 倍（1,126 億円）増→ 2,186 億円

＝他の歳出項目はほぼ同水準

（H20年 1,060億円 → R3年 2,186億円）

高齢者福祉費 1.78 倍増 子育て支援費 2.65 倍増 障害者福祉費 2.36 倍増

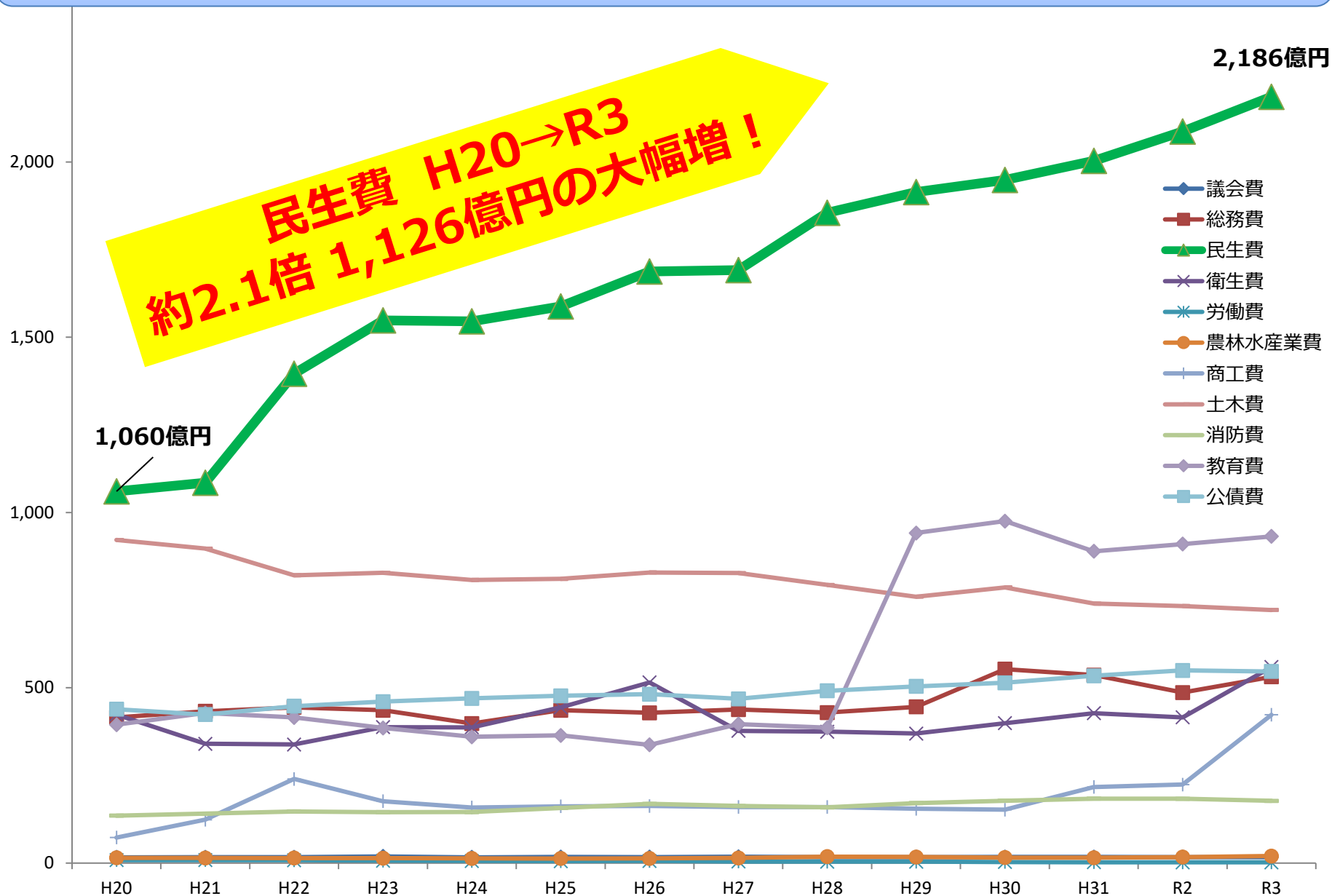
★歳出（性質別）

扶助費 2.7 倍（898 億円増）→ 1,424 億円

＝他の歳出項目はほぼ同水準

（H20年 526億円 → R3年 1,424億円）

主な予算額の推移【各年度当初予算 目的別】



④ トップクラスの政令指定都市に

成長力

人口増加数 **3位**

転入超過数 **全国4位**
政令市3位

0～14歳 **全国1位**
(6年連続)

開業率 **5位**

19年連続 黒字決算

×

健全性

財政力指数 **3位**

自主財源比率 **3位**

人口1人当たり
市債残高 **2位**

×

満足度

過去最高!

住みやすい **86.3%**

住み続けたい
85.0%

幸福度
ランキング **1位**

住みたい街 大宮 **4位**
ランキング 浦和 **8位**

更なる発展

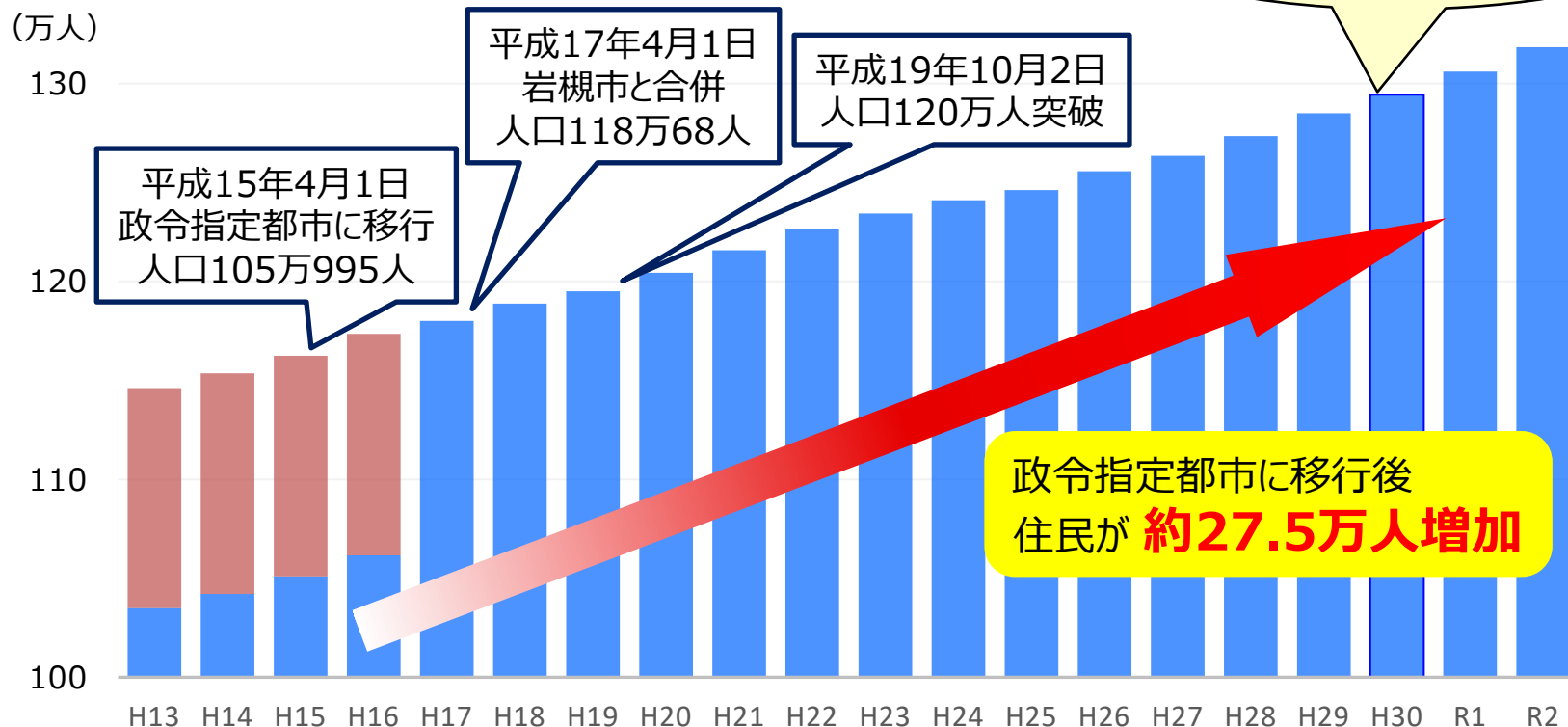
政令指定都市トップクラスの成長力 人口増加 政令市3位

人口 = 1,327,691人(R3/4/1現在)

国立社会保障・人口問題研究所の推計値を**上振れして増加**

●国勢調査H22→H27比較 =

人口増加数 政令市中・**第3位**



さいたま市の人口推移（各年4月1日現在）

※ただしH13はさいたま市が5月1日、岩槻市が4月1日現在の人口

■さいたま市 ■岩槻市

政令指定都市に移行後
住民が **約27.5万人増加**

平成30年9月18日
人口130万人突破

政令指定都市トップクラスの成長力 転入超過14歳以下全国1位

順位	市町村	2020年
1 (2)	大阪市 (大阪府)	16,802
2 (1)	東京都特別区部 (東京都)	13,034
3 (5)	横浜市 (神奈川県)	12,447
4 (3)	さいたま市 (埼玉県)	10,922
5 (6)	札幌市 (北海道)	10,493
6 (7)	福岡市 (福岡県)	7,909
7 (4)	川崎市 (神奈川県)	5,587
8 (10)	千葉市 (千葉県)	4,783
9 (8)	流山市 (千葉県)	4,067
10 (14)	つくば市 (茨城県)	4,052

注1) () 内の数字は2019年の順位

注2) 東京都特別区部は1市として扱う。

転入超過数が多い市町村

全国第4位

(総務省住民基本台帳人口移動報告)



さいたま市の優位性が評価され
人口増につながっている

6年連続!

速報!

しかも、年齢別の0歳～14歳では

全国1位

(総務省住民基本台帳人口移動報告)

政令市トップクラスの財政の健全性

(令和 1 年度決算普通会計ベース)

①財政力指数 0.977 **第3位**
(標準的な行政を行うためのお金を自らまかなえる割合)

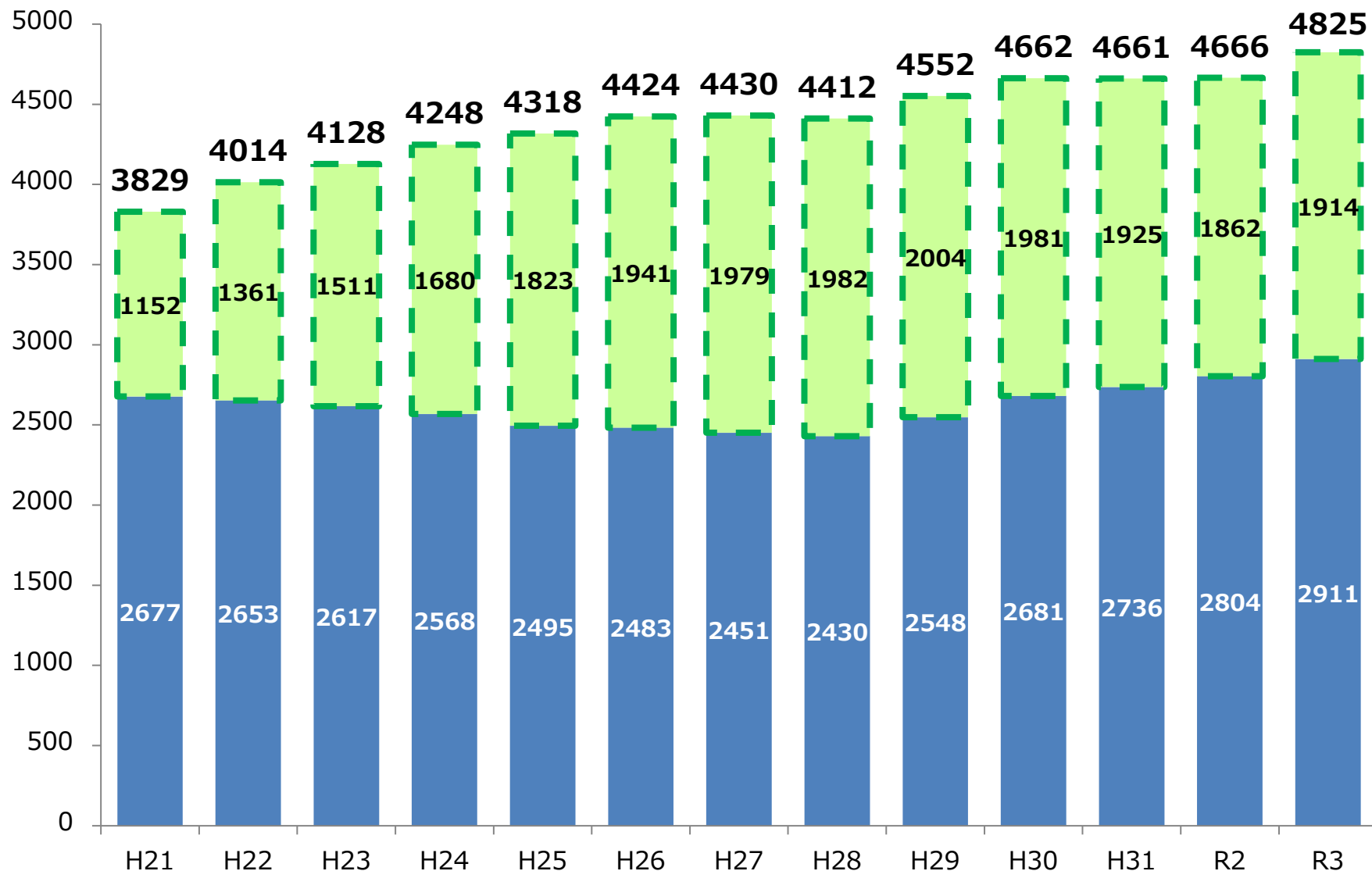
②自主財源比率 60.5% **第3位**
(収入に占める自主財源(市税など自らの権限で収入しうる財源)の割合)

③将来負担比率 32.0% **第6位**
(財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額等の割合)

④1人当たり市債残高 348千円 **第2位**

市誕生以来 **19年連続黒字**決算を継続中

市債残高の推移



単位；億円

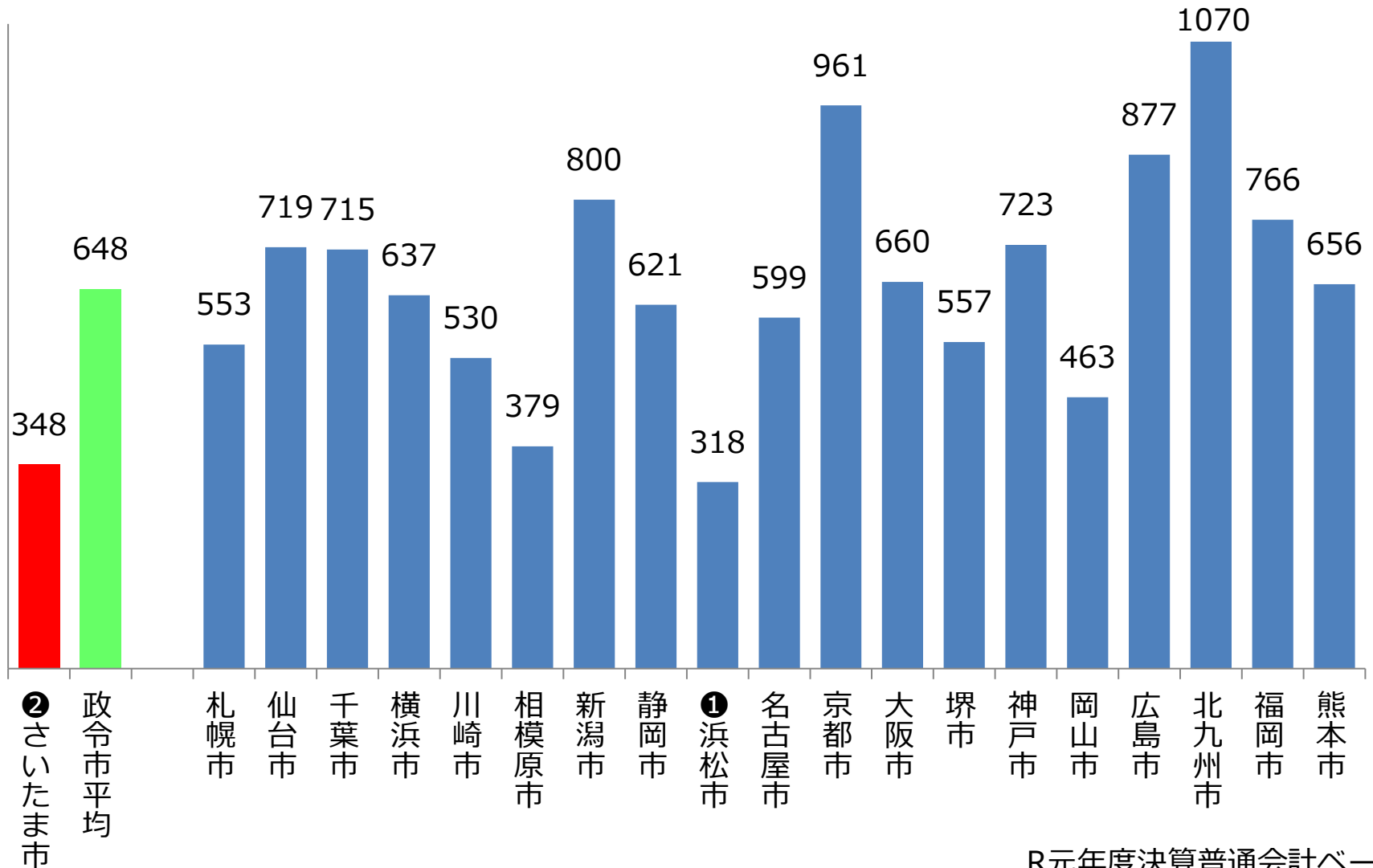
■ 市債残高(臨時財政対策債除く)

■ 臨時財政対策債残高

H28・H29年度は見込額 予算ベース

市民一人当たり市債残高 政令市2位

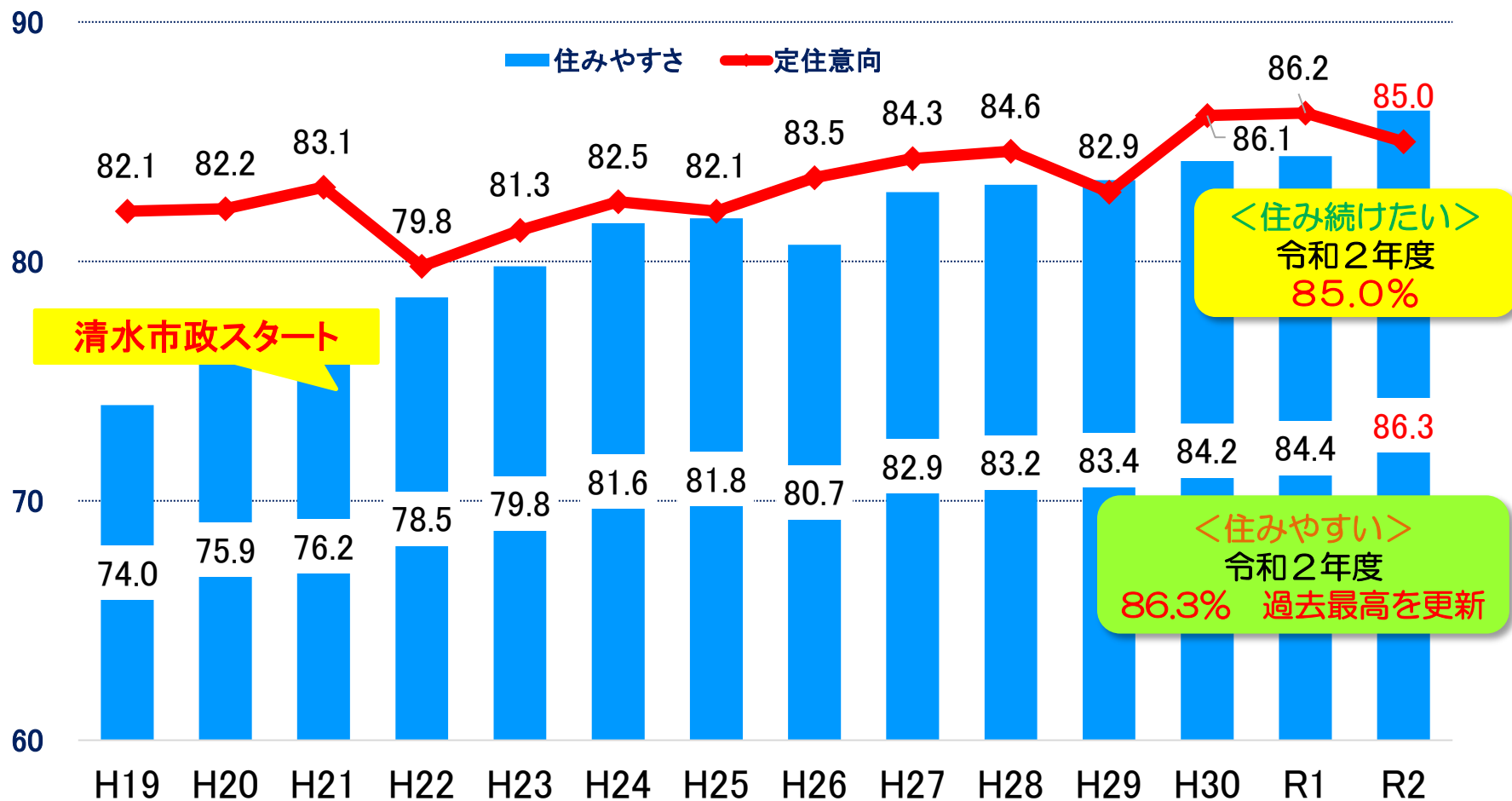
単位 ; 千円



トップクラスの
市民満足度

「住みやすい」過去最高の86.3% 「住み続けたい」3年連続の85.0%超

住みやすさと定住意向の推移（さいたま市）



⑤外部からの高い評価 幸福度・SDGs 第1位

(1) ランキング

- 幸福度ランキング1位（日本総合研究所）（R2度）
- SDGs先進度調査1位（日経新聞社）（R2度）
- 「住みたい街ランキング」4位大宮、8位浦和、15位さいたま新都心（R2度）



(2) 受賞・表彰

- マニフェスト大賞グランプリ受賞(H25度)
- 「スポーツ振興賞」観光庁長官賞 さいたまスポーツコミッション(H25度)
- 観光コンベンション賞「世界盆栽大会inさいたま」誘致(H26度)
- ペアレンティングアワード「祖父母手帳」(H28度)
- 第8回 環境省グッドライフアワード 環境大臣賞自治体部門賞「スマートホーム・コミュニティ」(R2度)



(3) モデル事業選定

- 内閣府「SDGs未来都市」（R1度）
- 内閣府 総合特区「次世代自動車スマートエネルギー」特区（～R2度）
- 国土交通省スマートシティモデルプロジェクト「スマートシティ推進事業」が選定(R1度)
- 総務省 令和元年度情報信託機能活用促進事業「ミソノ・データ・ミライ」プロジェクト(R1度)
- 環境省 CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業「ゼロエミッション地域公共交通インフラ」の開発・実証事業(H29～R31度)

政令市幸福度ランキング 1位

○全20政令指定都市の幸福度ランキング

東洋経済新報社『全47都道府県幸福度ランキング2020年版』

(寺島実郎：監修、日本総合研究所：編)

政令市 1位を獲得！

〔主な指標のランキング〕

〔47指標の総合ランキング〕

1位 **さいたま市**

2位 川崎市

3位 浜松市

4位 名古屋市

5位 岡山市

・

・

・

基本指標 1位

健康 5位

文化 4位

仕事 7位

生活 15位

教育 10位

・財政健全度 4位
・勤労者世帯可処分所得 1位

・生活習慣病による死亡者数(医療・福祉) 3位
・健康診査受診率(運動・体力) 2位

・教養・娯楽支出額(余暇・娯楽) 2位
・語学教室にかける金額(国際) 5位

・正規雇用者比率(雇用) 5位
・事業所新設率(企業) 6位

・持ち家比率(個人) 4位
・一般廃棄物リサイクル率(地域) 8位

・大学進学率(学校) 2位
・図書冊数(社会) 8位

総合評価 1位 ⇒ 幸福度の高い地域づくりを進めるための基本的な力を有している

⑤外部評価
ランキング

「全国市区・SDGs先進度調査」1位

日本経済新聞の「全国市区・SDGs先進度調査」（令和3年1月4日：日経グローバル誌掲載）において、さいたま市が首位となりました。

総合ランキング1～10位

- 1 (7) **さいたま市**
 - 2 (1) 京都市
 - 3 (14) 葛飾区
 - 4 (2) 北九州市
 - 5 (4) 豊田市
 - 6 (13) 福岡市
 - 7 (27) 川崎市
 - 8 (6) 相模原市
 - 9 (8) 板橋区
 - 10 (5) 岡山市
- ()は前回の順位

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



住みたい街ランキング2021

○SUUMO住みたい街ランキング2021関東版

『株式会社リクルート住まいカンパニー SUUMO住みたい街ランキング2021関東版より』

〔住みたい街（駅）ランキング〕

- 1位 横浜
- 2位 恵比寿
- 3位 吉祥寺
- 4位 **大宮**
- 5位 目黒
- 6位 品川
- 7位 新宿
- 8位 **浦和**
- ⋮

大宮		
2014 23位	→ 2017 15位	→ 2021 4位

浦和		
2014 30位圏外	→ 2017 19位	→ 2021 8位

さいたま新都心		
2014 30位圏外	→ 2017 63位	→ 2021 15位

武蔵浦和		
2014 30位圏外	→ 2017 ランク外	→ 2021 63位

新都心や
武蔵浦和
も急上昇

本市が目指している「選ばれる都市」の実現に向けて一歩ずつ着実に進んでいる

⑤受賞・表彰 マニフェスト大賞（首長） グランプリ獲得

平成25年11月

第8回マニフェスト大賞（首長） グランプリ・最優秀賞 獲得

－「新しあわせ倍増計画 <しあわせ実感都市へ>」－

- ◆市民評価委員会による緻密な外部評価と報告会を毎年度実施
- ◆市民協働によるPDCAサイクルを確実に回し、マニフェストの約9割を達成
- ◆その成果を2期目につなげ、マニフェスト型自治体経営を着実に推進



⑥モデル事業選定 令和元年度「SDGs 未来都市」選定

本市では、立地優位性を活かした広域連携により東日本連携センターを開設するなど、東日本の玄関口として、地方創生に資する取組を数多く行っているとともに、環境面においても浦和美園地区を中心にスマートシティに係る取組など、精力的に推進してきたことが評価された。

緑字：SDGs未来都市（自治体SDGsモデル事業含む）

青字：SDGs未来都市

※県が選定されている場合は県全域を着色。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

